No.194

ちば県議会だより

県議会は、年に4回（2月、6月、9月、12月）定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

［発　行］千葉県議会
［編　集］千葉県議会事務局政務調査課
〒260-0855
千葉市中央区市場町1-5
TEL 043-223-2523
FAX 043-222-4073

千葉県議会

ちば高校生県議会を開催


チーバくん

7月27日（月）に、県内在学の高校生27名が高校生議員となり「ちば高校生県議会」を開催しました。本会議場で模擬選挙を行い議長役を選出、その後3つの委員会に分かれ、設定されたテーマについて県議会議員とともに活発な議論を行い、政策提言をまとめました。

まとめた政策提言は、本会議で各委員会の委員長が報告し、これに対する質疑・答弁を行った後、採決を行った結果、全ての提言が可決され、後日、政策提言書として千葉県議会議長へ提出されました。

ちば高校生県議会




企画委員会


総務委員会


環境委員会

9月定例県議会のあらまし

9月定例県議会は、9月4日に招集され、10月6日までの33日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和8年度一般会計補正予算等の議案27件、報告3件および決算認定についてが上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題等について報告がありました。

9月10日の質問初日には、議員発議による「千葉県フェーズフリー推進条例」が上程され、提出者の趣旨説明が行われました。

9月10日から7日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、22名の議員が登壇し、行財政運営をはじめ、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

9月18日には、議案3件が追加上程され、知事から提案理由説明がありました。

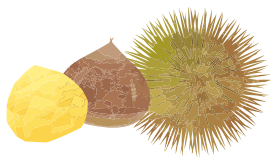
各常任委員会は、9月25日から4日間にわたり開催され、付託された議案・発議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案および発議案については原案のとおり可決されました。

続いて、上程された議員発議案16件（条例2件、意見書14件）のうち条例1件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

令和8年9月定例県議会の概要（会期日程、議案・発議案の賛否一覧等）は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

代表質問



9月10日（木）



自民党 森岳（もりがく） 議員（木更津市）

- 令和8年8月千葉豪雨
- 行財政運営
- 地域未来戦略
- 有害鳥獣対策
- 農林水産業の振興
- サイバー犯罪対策



立憲民 入江（いりえ） 晶子（あきこ） 議員（佐倉市･印旛郡酒々井町）

- 令和8年8月千葉豪雨
- 高齢者救急への対応
- 地球温暖化対策
- 県立美術館の活性化
- 有機農業の推進
- DV･ストーカー対策

9月11日（金）



公明党 篠田（しのだ） 哲弥（てつや） 議員（松戸市）

- 防災･減災
- 平和の文化
- 気候変動
- 物価高騰対策
- 医療施策
- 再配達削減に向けた取組



千政団 水野（みずの） 友貴（ゆうき） 議員（我孫子市）

- 千葉豪雨を踏まえた防災･減災対策
- 公共施設の広域連携推進
- 医療構想区域の見直し
- 手賀沼の水質課題と水面利用ルール作り
- 離農防止対策と女性農業者支援
- 教員未配置問題と高校教育改革

9月14日（月）



共産党 みわ 由美（よしみ） 議員（松戸市）

- 千葉豪雨避難所環境改善と備蓄･生活と支援
- マンション防災･河川･治水対策強化見直し
- 知事の姿勢平和と憲法成田空港周辺土地収用
- 公共交通の充実･加齢性難聴者の補聴器助成
- 児童相談所体制･不登校支援･常盤平第一小
- 松戸市立総合医療センターへの支援

質問項目は、主な項目を掲載しています。

議員定数および選挙区の区域を変更

「千葉県議会議員の定数及び選挙区等に関する条例」の一部が改正され、次回の一般選挙から次のとおりとなります。

選挙区 41　　定数 95▶96
（選挙区の区域変更あり）

【前回の選挙から変更のあった選挙区の区域および定数】

前回の選挙区	定数	変更後の選挙区	定数	増減
船橋市	7	船橋市	8	+1
匝瑳市	1	匝瑳市及び香取郡多古町を合区	1	±0
香取市･香取郡神崎町･香取郡多古町	2	香取市･香取郡神崎町	2	±0

※変更後の選挙区と定数の一覧表は3面に掲載



県議会を紹介した動画を
ホームページおよびYouTubeに
掲載していますので、ぜひご覧ください。

会派等別議員数

会派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	49人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	11人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千葉新政策議員団	千政団	5人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	4人
平和の党	平和党	1人
国民民主党千葉県議会議員会	国　民	1人
千葉県民の声	県民声	1人
リベラル民主	リベ民	1人
市民力	市民力	1人
有志の会	有　志	1人
野田民主の会	野田民	1人
未来ちば	未来ち	1人
自立と未来	自立来	1人
未来クラブ	未来ク	1人
無所属議員	無所属	2人

定数95人 現員89人　　（令和8年10月7日現在）

代表質問から

令和8年8月千葉豪雨

問 過去に体験したことのない災害への対応に当たって、どのような課題があったと認識しているのか。
また、今後どのように取り組んでいくのか。

答 今回の豪雨は、線状降水帯が3回発生し、「記録的短時間大雨情報」が25回発表されるなど、これまで経験したことのない規模の集中豪雨が、人々の生活や商工業・交通など経済活動を支える機能が集積する地域を襲い、極めて深刻な都市型水害となった。

今回の災害を通じ、都市部特有の問題として、千葉駅や蘇我駅などで多数の帰宅困難者が発生したほか、エレベーターの停止や断水により、マンションでの生活に大きな影響が生じるとともに、アンダーパスの冠水や被災車両の発生によって、交通や復旧活動に支障を来すことが明らかになった。

今後、治水対策や浸水対策、避難・帰宅困難者対策など、課題や都市部特有の脆弱性を的確に把握した上で、市町村や関係機関、有識者などの意見を聞きながら検証を行い、ハード・ソフト両面から、防災・減災対策の充実・強化につなげ、「都市型水害に強い千葉県づくり」を進めていく。

問 道路の被災車両対策について、県はどのように取り組んでいるのか。

答 県が管理する道路では、今回の豪雨に伴う路面冠水により、緊急車両の通行の支障となった被災車両227台が確認され、災害対策基本法第76条の6に基づき、当該車両を路肩等へ移動した後に、路外への撤去を行った。

また、道路の被災車両に対する円滑な対応を図るため、県において国や千葉市等の関係機関で構成するプロジェクト会議を開催し、意見交換や情報共有を行い、撤去や所有者への引き渡しが円滑に行われるよう、市町村と共に車両の管理や所有者への連絡などに取り組んでいる。

引き続き、被災車両対策が早期に完了するよう、関係機関と連携して取り組むとともに、今回の豪雨で明らかになった課題を検証し、今後一層、道路における被災車両対策の適切かつ効果的・効率的な推進について、検討を進めていく。

問 豪雨による農林水産業の被害の状況はどうか。
県として、どのように支援していくのか。

答 今回の豪雨では、農地や、揚水機場をはじめとする農業用施設、漁業協同組合の冷蔵施設などが水没したほか、冠水が長時間に及んだ地域では、水稲やニンジン、ネギ、落花生などの農作物にも被害が生じた。

県では、発災直後から農業事務所等に相談窓口を設置し、収量や品質低下を防ぐための技術的な助言を行うとともに、被災した農林漁業者の資金繰りを支援するため、通常より低利の「千葉県災害対策資金」を発動した。

また、国に対しては、営農再開に必要な種子等の生産資材の経費への助成や、農業機械等の再取得・修繕への支援を要望した。

今後も、国や市町村等と連携しながら、生産基盤を回復するため、施設等の早期復旧を進めるとともに、被災した農林漁業者ごとに個別の課題を丁寧に把握し、生産活動の立て直しに向けて寄り添った支援を行っていく。

問 開設した一時滞在施設の運用について、どのような課題があり、今後どのように取り組んでいくのか。

答 県では、交通途絶時の鉄道利用者等の安全を確保するため、鉄道事業者や市町村、民間施設等が参加する駅周辺帰宅困難者等対策協議会などと連携を図り、駅周辺の一時滞在施設を確保するなど、帰宅困難者対策に取り組んできた。

今回の豪雨では、鉄道等の運行情報を踏まえ、各市においても一時滞在施設を開設したところであり、冠水等により交通手段が大きく制約される中、モノレールが利用できたことなどの交通事情により、県庁舎等において、多くの帰宅困難者を受け入れることとなった。

今後、協議会において、今回の対応の検証等を行い、情報発信やおのおのの役割分担などを整理するとともに、協議会関係者との連携を一層深め、帰宅困難者が安全・安心に公共交通機関の再開を待つことができる一時滞在施設の充実に取り組んでいく。

行財政運営

問 令和8年度9月補正予算は、どのような点に力を入れて編成したのか。
また、令和8年8月千葉豪雨による被害について、予算ではどのように対応していくのか。

答 今回の補正予算では、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、
●地域未来戦略を踏まえた施策を推進するための新たな基金の造成
●成田市場、成田空港を活用した輸出産地の形成に向けた実証事業
●公立高校のさらなる魅力化に向けた高校教育改革の推進
など千葉県の発展のために必要な事業費を計上した。

また、鳥インフルエンザの発生予防のための野鳥等の行動実態把握調査や、新たな救命救急センターの指定、河川氾濫等の通報基準となる氾濫発生水位の設定に向けた調査など、県民の安全・安心の確保にも対応した。

なお、今回の豪雨に伴う被害への対応については、現在、被害状況や必要経費の精査を進めながら、補正予算の編成を行っており、具体的には、被災者をはじめ農林水産業者や商工業者等への支援、道路や河川などの復旧に加え、都市型水害への対策やアンダーパスにおける車両侵入防止対策に必要な経費の計上を検討している。

地域未来戦略

問 「地域未来基金」は、どのような考えに基づき創設するのか。
また、どのような取り組みに基金を充てていくのか。

答 国は、地域未来戦略を踏まえ、都道府県が強い地域経済の構築に複数年度で取り組むことができるよう、地方交付税に「地域未来基金費」を創設し、都道府県へ交付することとした。

そこで、県では、交付された144億円を活用して、本県において産業が集積し、将来も本県経済をけん引していくことが期待される
●航空宇宙分野
●資源・エネルギー安全保障・GX分野
●創薬・先端医療・バイオ分野
などにおける産業クラスターの形成・拡大や、地場産業の付加価値向上等を、複数年度にわたり推進するため、「千葉県地域未来基金」を造成することとした。

本基金の創設後は、現在策定を進めている地域産業クラスター計画および地場産業成長プランに掲げた施策に活用することで、民間企業の成長を後押しし、本県経済のさらなる拡大、ひいては、我が国の産業競争力強化を力強くけん引していく。

県立美術館

問 県立美術館の来館者を増やすため、年間パスポートの見直しを含め、今後どのように取り組んでいくのか。

答 県立美術館に多くの方に来館していただくためには、新たな来館者の獲得とともに、継続的な来館につながる環境づくりが重要であると考えている。

このため、美術館への関心を高め、新たな来館につなげるため、今後、幅広い世代に親しまれているチーバくんの20年の歩みや、現代アートに取り組む本県出身の若手作家を紹介する展覧会を行う予定である。

また、日頃から美術館を利用する方の快適性や利便性をさらに高めるため、現在休止中のレストランの再開に向け、厨房設備の改修を行うほか、年間パスポートについても、他の美術館の事例等を参考に、より使いやすいものとなるよう研究していく。

引き続き、より多くの方々に美術館に足を運んでいただけるよう、さらなる魅力の向上に取り組んでいく。

気候変動

問 気候変動に伴う海洋環境の変化により、減少しつつある藻場の保全に関する県の取り組み状況はどうか。

答 本県沿岸に広がる藻場は豊かな漁場であるだけでなく、二酸化炭素の吸収源でもあることから、漁業者のみならず、ブルーカーボンに関心を持つ民間企業などの参画も得ながら、藻場の保全対策を進めていくことが重要である。

そこで、県では、海藻を食べるブダイなどの魚の駆除に効果のある網の購入や、海藻の胞子を漁場に供給するといった漁業者の取り組みを支援するほか、漁業者と民間企業などとの連携を進めており、駆除したブダイを活用した惣菜の宅配などの事例も生まれてきている。

令和8年度からは、ブダイなどの水揚げに対する奨励金の交付や、高水温でも生育できる海藻の研究に新たに取り組んでいるところであり、今後も藻場の保全対策を強化し、漁業生産性の向上を図っていく。

教員未配置

問 教員の未配置に対して、これまでどのように取り組んできたのか。

答 県教育委員会では、教員の未配置解消のため、教職の持つ魅力や、やりがい等を積極的に情報発信するなど、教員志願者や講師の確保に向けた取り組みを進めている。

具体的には、教員志願者の確保については、教員になることへの意欲を高めるため、高校や大学での説明会の回数を増やすなどプロモーション活動を強化しているほか、奨学金の代理返還事業の導入や、教員養成課程を置く県内大学との連携などに取り組んでいる。

また、講師の確保については、県内各地での講師登録説明会の開催や、ラジオCM等を活用した広報活動、転職フェアへのブース出展などに加え、令和7年度は、ペーパーティーチャーを対象としたセミナーや個別相談会を11回実施し、延べ313名が参加するなど、優秀な人材確保に努めている。

児童相談所体制強化

問 全国で最長の平均保護日数をどう改善するのか。

答 保護日数が長期化する要因としては、複雑な家庭環境などにより、児童の家庭復帰に向けた調整に時間がかかることや、児童養護施設等とのマッチングに時間を要することなどが挙げられる。

県としては、保護解除後の受け皿となる里親委託の推進や児童養護施設の整備のほか、ICTを活用した職員のケースワーク業務の効率化などにより、粘り強く保護日数の短縮に取り組んでいく。

可決された議案・発議案

◆令和8年度補正予算関係（11件）
▽一般会計（2件）
▽特別会計（9件）

◆条例の制定
▽千葉県地域未来基金条例

◆条例の一部改正（3件）
▽認定こども園の認定の要件を定める条例等
▽千葉県医師修学資金貸付条例
▽千葉県中小企業融資損失てん補条例

◆その他（15件）
▽契約の締結（11件）
▽契約の変更（3件）
▽千葉県と柏市との間における児童自立支援施設に関する事務の委託に関する規約の制定に関する協議

〈議員提出〉

◆条例の制定
▽千葉県フェーズフリー推進条例

◆条例の一部改正
▽千葉県議会議員の定数及び選挙区等に関する条例

各常任委員会の主な質疑から

総務防災常任委員会

問 令和8年8月千葉豪雨および台風第25号により浸水被害を受けた車両が多数発生しているが、自動車税の減免措置はどのような場合に適用されるのか。
また、自動車税の減免措置について、どのように周知しているのか。

答 災害により自動車が使用できなくなった場合や、一時的に運行できなくなった場合には、自動車税の減免措置の対象となる。
周知については、県公式ホームページやSNS、新聞などの各種媒体を通じて、被災された方々に向けた情報発信を行っている。

総合企画企業常任委員会

問 令和8年8月千葉豪雨と、台風第25号による工業用水道事業における佐倉浄水場のポンプ設備の故障について、どのような被害内容であったのか。
また、受水企業への影響はどうか。

答 令和8年8月千葉豪雨による浸水被害により5台ある送水ポンプのうち2台が、台風第25号により全てのポンプが稼働不能となったため、一部の受水企業に対して送水を停止しているほか、使用水量の削減を依頼しているところである。
速やかに修繕等を実施するとともに、追加費用について、今後の補正予算等で対応していくなど、事業活動への影響をできるだけ軽減できるよう復旧に取り組んでいく。

健康福祉常任委員会

問 がん診療連携拠点病院等機能強化事業は、県のがん医療提供体制の充実に向け、どのような役割を果たしているのか。

答 県では、17の地域がん診療連携拠点病院等を指定し、がん患者等が居住地域に関わらず適切ながん医療や支援等を受けられる体制を整えている。
がん診療連携拠点病院等機能強化事業は、拠点病院が地域で行うがん医療に携わる医師等への研修、がん患者やその家族等への相談支援、緩和ケア提供体制の構築などの取り組みを支援するもので、これにより、拠点病院を中心とした質の高いがん医療提供体制の確立が期待される。
県としては、相談支援体制の周知強化などを通じ、引き続き、がん医療提供体制の充実に取り組んでいく。

環境生活警察常任委員会

問 令和8年8月千葉豪雨による警察車両の被害状況について補正予算でリース車を要求しているが、リース車の塗装はどうするのか。

答 リース車においては、故障中の普通車の代替車としてリースする予定のため、塗装は必要としていない。
なお、パトカーについては、国から他県警の車両の配分が決まっており、手続き後、千葉県警察仕様の塗装に変えて使用予定である。
引き続き、警察機動力を確保し、治安維持に支障を来すことのないように対応していく。

商工労働常任委員会

問 令和8年8月千葉豪雨に対する、被災小規模事業者再建支援事業について、今後どのように取り組んでいくのか。
併せて、被害中小企業者等に対する低利融資のための利子補給を実施することで、最終的にはどの程度負担が軽減されるのか。

答 被災小規模事業者再建支援事業の、迅速かつ、的確な支援を図るためには、被災企業の情報を把握する市町村や商工会、商工会議所との連携が重要であり、こうした団体との情報共有を密にしながら、支援を必要とする被災企業に対し、着実な支援策が行き届くよう、取り組んでいく。
また、被害中小企業者等に対する利子補給による負担軽減は、低利なセーフティネット資金の市町村認定枠を利用した場合、利子補給前は2・45パーセントであったものが、利子補給後は1・95パーセントになる。

農林水産常任委員会

問 新品種海苔（のり）「黒の頂（くろのいただき）」の今後の販売戦略について、どのように考えているのか。

答 令和8年度は、海苔の初入札会や百貨店での千葉県フェアなどの機会を通じてPRに取り組んでいる。
令和9年度は、ロゴデザインを活用して本格的な販売促進を行っていく。

県土整備常任委員会

問 アンダーパスにおける車両進入防止対策事業について、具体的な内容はどうか。

答 県が管理する道路のアンダーパスについては、現在24カ所あり、令和7年度から、優先順位の高い4カ所において、エアー遮断機の設置に向けた設計を進めてきた。
今回の補正追加予算では、4カ所についてエアー遮断機を設置する工事および残る20カ所の設計を進めるため3億6千万円を計上したところである。
引き続き、県が管理する道路におけるアンダーパスについて、冠水対策の一層の強化に取り組んでいく。

文教常任委員会

問 高等学校等教育改革促進事業について、市川工業高校における改革先導拠点としての取り組みはどうか。

答 新たに2つのコースの設置を予定している。
「（仮称）AI・ロボティクスコース」では、千葉工業大学との継続的な連携のもと、高度な学びを実践していく。
「（仮称）科学技術コース」では、県立船橋高校の探究成果発表会への参加などを通じて、理論的な思考力や表現力を高めるなど、工業高校からの大学進学を推進していく。
さらに、他の工業高校と連携した作品製作や実習等に取り組む「ものづくりスタジオ」や、「ロボット実習室」などの整備を予定している。

「千葉県フェーズフリー推進条例」を可決


山本義一議員による条例の趣旨説明

9月定例県議会において、議員発議による「千葉県フェーズフリー推進条例」が賛成多数で可決されました（令和8年10月13日施行）。

この条例は、近年、各地で自然災害が激甚化、頻発化している中、行政、県民、事業者がそれぞれ主体的に災害への備えを進めていく必要があることから、平時と災害時を問わず、施設や物品等を円滑に利用できるようにしていこうとするフェーズフリーの考え方を広く社会全体に浸透させることにより、地域防災力の向上を図ることを目的として制定されました。

主な内容としては、フェーズフリーを推進する上での基本理念として、①日常的に利用する施設や物品等について、災害時にも役立つものとすることにより、災害時における県民の心身の健康および生活の質の維持に資するものとなるようにすること、②災害時に利用する施設や物品等について、日常生活でも役立つものとすることにより、日常生活の利便性および安全性の向上に資するものとなるようにすること、などを規定しています。

また、これらの目的や基本理念を受けて、県は、フェーズフリーの推進に関する施策の総合的な推進を図るために必要な体制を整備するとともに、フェーズフリーおよびその考え方を踏まえた取り組みに関する教育の充実ならびに知識の普及のための広報および啓発その他の必要な措置を講ずるよう努めることとしています。

さらに、県民、事業者および市町村は、それぞれの立場からフェーズフリーの考え方を踏まえた取り組みを行うよう努めることとしています。

議員定数および選挙区の区域を変更

「千葉県議会議員の定数及び選挙区等に関する条例」の改正後の選挙区と定数は、次のとおりです。

太字が変更された選挙区とその定数です。

選挙区	定数
長生郡選挙区	1
千葉市中央区選挙区	3
千葉市花見川区選挙区	3
千葉市稲毛区選挙区	2
千葉市若葉区選挙区	2
千葉市緑区選挙区	2
千葉市美浜区選挙区	2
銚子市・香取郡東庄町選挙区	2
市川市選挙区	6
船橋市選挙区	**8**
館山市選挙区	1
木更津市選挙区	2
松戸市選挙区	7
野田市選挙区	2
茂原市選挙区	2
成田市選挙区	2
佐倉市・印旛郡酒々井町選挙区	3
東金市選挙区	1
旭市選挙区	1
習志野市選挙区	2
柏市選挙区	5
勝浦市・いすみ市・夷隅郡選挙区	2

選挙区	定数
市原市選挙区	4
流山市選挙区	3
八千代市選挙区	3
我孫子市選挙区	2
鴨川市・南房総市・安房郡選挙区	2
鎌ケ谷市選挙区	2
君津市選挙区	2
富津市選挙区	1
浦安市選挙区	2
四街道市選挙区	2
袖ケ浦市選挙区	1
八街市選挙区	1
印西市・印旛郡栄町選挙区	2
白井市選挙区	1
富里市選挙区	1
匝瑳市・香取郡多古町選挙区	**1**
香取市・香取郡神崎町選挙区	**2**
山武市・山武郡選挙区	2
大網白里市選挙区	1

※変更前後の選挙区と定数の詳細は1面に掲載

SNS **県議会の情報を随時配信していますので、ちば県議会だよりと併せて、ぜひご覧ください。**

X　Facebook　YouTube　県公式LINE

※LINE受信設定のお願い
千葉県公式LINEを友だち追加後、メニュー画面右下の「受信設定」ボタンから県政情報内の「議会・選挙関連情報」にチェックを入れて設定してください。

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。

9月14日（月）

自民党 川村 博章 議員



千葉市花見川区

- バス路線の維持
- 総武線
- 災害対応
- 千葉市と県警との連携

自民党 宮坂 奈緒 議員



浦安市

- 民泊の適切な規制のあり方
- 警察待機宿舎の現状と整備方針
- 訪問看護
- 見明川河口部の海岸高潮対策

9月15日（火）

自民党 瀧田 敏幸 議員



印西市・印旛郡栄町

- 印西市データセンター問題
- 北総鉄道運賃
- 北千葉道路掘割部の道路美化
- 県道千葉ニュータウン北環状線

自民党 伊藤 昌弘 議員



佐倉市・印旛郡酒々井町

- 印旛沼及び周辺河川の治水対策
- 浄化槽の法定検査
- 企業誘致
- 高齢者福祉

9月16日（水）

自民党 雨宮 真吾 議員



成田市

- 「みんなで大家さん」問題
- 成田空港
- 外国人政策
- 医療問題

自立来 河野 俊紀 議員



千葉市美浜区

- 地域包括支援センター
- 緊急事態の避難施設の確保
- 浜岡原発のデータ捏造・隠蔽
- 匿名・流動型犯罪グループ

立憲民 守屋 貴子 議員



市川市

- 防災対策・令和8年8月千葉豪雨
- 受動喫煙対策
- 梨のプロモーションとGI登録
- 規格外と未利用の農林水産物

公明党 仲村 秀明 議員



船橋市

- 公共工事での労働費確保
- 不妊検査助成事業
- 医療用ウィッグの対象拡大
- 介護支援専門員の安全対策

平和党 西尾 憲一 議員



船橋市

- 海外視察報告書を職員が作成
- 本会議の質問書も職員が作成
- 体験格差解消
- 受動喫煙対策

9月17日（木）

自民党 田畑 毅 議員



茂原市

- 河川整備
- 県立長生の森公園の整備
- 産業用地の確保
- 新たな地域医療構想

立憲民 菊岡 たづ子 議員



市原市

- 防災
- 河川管理
- 重症心身障がい児者への支援
- 県立高校で学ぶ生徒の進路指導

国民 天野 行雄 議員



千葉市稲毛区

- 経済安全保障とエネルギー
- 浮体式洋上風力の地場産業化
- 核融合発電の千葉県への誘致
- 蓄電池による避難所の無停電化

自民党 小川 としゆき 議員



千葉市若葉区

- 災害に強い千葉県づくり
- 都川の河川改修
- 財源確保と行財政改革の推進
- 海辺の利活用と千葉みなと活性化

自民党 宮川 太 議員



銚子市・香取郡東庄町

- 県内市町村との連携
- 福祉避難所
- 全国豊かな海づくり大会
- 警察行政

9月18日（金）

自民党 関 政幸 議員



千葉市緑区

- 令和8年8月千葉豪雨災害
- フェーズフリーに基づく取組
- 将来の感染症への備え
- トランスフォーメーション

自民党 坂下 しげき 議員



市川市

- 災害から県民を守る政策の加速化
- 障がい児者のニーズに即した施策
- 物価高騰時の県民負担の軽減
- 梨の生産に対する災害対策

自民党 髙橋 秀典 議員



旭市

- フェーズフリーの推進
- 食関連産業とコールドチェーン
- 海業の推進
- 鳥インフルエンザ対策

「決算審査特別委員会」の設置



令和8年9月定例県議会において、千葉県の令和7年度一般会計および特別会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会が設置されました。

■**審査日程**（開会時間 各日午前10時）

10月9日（金）・19日（月）・30日（金）・11月9日（月）・11日（水）・16日（月）

■**委員名簿**

会派名	委員名		
自民党	◎實川 隆	○伊豆倉 雄太	中村 実
	川名 康介	髙橋 祐子	髙橋 秀典
	松﨑 太洋	渡辺 務	川村 博章
	加藤 裕太		
立憲民	髙橋 浩	菊岡 たづ子	伊藤 ちかこ
公明党	阿部 俊昭	田村 耕作	
千政団	保坂 康平		
共産党	浅野 ふみ子		

◎委員長　○副委員長　（令和8年9月18日現在）

::: 9月定例県議会 知事あいさつ

令和8年8月千葉豪雨および令和8年熊本地震により、犠牲になられた方々とその御家族に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、これらの災害や北陸・東北地方での大雨により被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

◎千葉豪雨に関する被害やその対応等

今回、局地的な豪雨をもたらす線状降水帯が3回発生し、千葉市内では8月の平年降水量の3倍の雨がわずか12時間で降るなど、かつて経験したことのない集中豪雨に見舞われたことにより、家屋への浸水や路面の冠水による車両の故障が多数発生するなど、県内各地域で被害が相次ぎました。

県では、当日、多数の帰宅困難者が生じたことを踏まえ、一時滞在施設として県庁舎等を開放し、県有施設全体で過去最大となる約2,700人の帰宅困難者を受け入れました。

また、被害状況の把握や応急対応に当たり、レベル5大雨特別警報の発表後、速やかに災害対策本部を設置するとともに、被災市町村が円滑に応急救助を実施できるよう、43市町村に派遣しているリエゾンを活用し、連携体制を確保しました。なお、蘇我駅周辺で多くの帰宅困難者が発生したことから、自衛隊に対し、災害派遣要請を行い、一時滞在施設への輸送を行った他、国等と調整し、24市町を対象として、即日、災害救助法の適用を決定しました。

その後、多くの浸水被害が発生した佐倉市、大網白里市および千葉市に赴き、被害の状況を確認してまいりました。

被災車両については、国・県・千葉市など関係機関が連携し、プロジェクトチームを設置して、路肩に残されたものも含め、撤去を完了させました。

また、被災市町村においては、県および県内市町村から応援職員を受け入れた上で、住家被害の認定調査や罹災証明書の交付などを、鋭意進めているところです。

さらに、激甚災害の指定や、被災者の生活再建と地域の早期復旧・復興に加え、今後予想される同様の災害に備えた防災・減災対策の強化に向け、国土交通大臣や防災担当の内閣府特命大臣に対する緊急要望を実施したところ、同日中に激甚災害の指定を受ける見込みとなりました。



県では、令和元年度や令和5年度に発生した台風等の教訓を踏まえ、一宮川水系流域治水プロジェクトを着実に進めるなど、防災インフラの整備に力を入れた結果、水害などによる被害の軽減に一定の効果があったものと考えていますが、今後、流域治水対策を一層加速化させていくとともに、全庁を挙げて復旧に向けた取り組みを進めてまいります。さらに、過去に例を見ない都市型水害により、大きな被害が発生したことを重く受け止め、今後、どう対応していくのか、今回の被害や対応状況をしっかりと検証し、総括した上で、より災害に強い「防災県・千葉」とするための取り組みを、オール千葉県で進めてまいります。

◎令和8年度補正予算案他

令和8年度9月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の27議案のほか、報告3件および「決算認定について」です。

議案第1号は、令和8年度一般会計の補正予算案です。

9月補正予算では、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、必要な事業費を計上しました。

また、年度間の財源の調整を図り、健全な財政運営に資するため、令和7年度の決算剰余金の2分の1を財政調整基金に積み立てます。

この結果、補正予算額は382億1,800万円、補正後の予算規模は2兆2,937億3,500万円となります。

この他、議案の概要および当面の諸問題等について報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会　知事あいさつ

令和8年12月定例県議会 会期および議事・委員会予定（素案）

月日	議事・委員会予定	開議時間
11月20日（金）	開会 TV 💻	午前10時
27日（金）	質疑並びに一般質問 TV 💻	〃
30日（月）	〃 TV 💻	〃
12月 1日（火）	〃 💻	〃
2日（水）	〃 💻	〃
3日（木）	〃 💻	〃
4日（金）	〃 💻	〃
7日（月）	〃 💻	〃
9日（水）	常任委員会（環境生活警察・農林水産）	〃
10日（木）	〃 （総務防災・県土整備）	〃
11日（金）	〃 （総合企画企業・文教）	〃
14日（月）	〃 （健康福祉・商工労働）	〃
17日（木）	閉会 💻	午後1時

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。
※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。
TV …テレビでの生放送を予定しております。
💻 …パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。